

二〇一〇年度後期～二〇一一年度前期 文学研究科院生の研究活動

真宗学専攻

○真宗研究会

《修士論文中間発表》

日程 二〇一〇年一〇月二六日(火)・二八日(木)

於 龍谷大学大宮学舎清和館三階大ホール

【第一日目】

- ・『教行信証』『化身土巻』末の研究
―「異執」の内容をめぐって―
菊川一道 (M3)
- ・浄土真宗における名号・本尊論の研究
本多善朗 (M3)
- ・親鸞善光寺勧進聖説の研究
玉木興隆 (M2)
- ・「如来と等し」考
水杉唯可 (M2)
- ・『大乘無量寿莊嚴經』の研究
川元恵史 (M2)
- ・親鸞教義の普遍性と特殊性
―特に西洋の真宗伝道論の構築に向けて―
禿 定心 (M4)
- ・親鸞聖人と真仏土 ―曇鸞引文を中心に―
富島信海 (M2)
- ・死別の悲しみと真宗の教え
水杉知里 (M2)
- ・道綽の教判論
熊谷了淳 (M2)

【第二日目】

- ・宗教的時間論の考察
―親鸞思想と時間の関係性―
早川裕道 (M2)
- ・『教行信証』における「化身土文類」末巻の意義
武末直也 (M2)
- ・浄土真宗における宗教教育の現状と課題
藤井顕子 (M2)
- ・悪人正機考
松浦哲良 (M2)
- ・親鸞聖人における善悪について
佐藤明功 (M2)
- ・カヘル考
石丸涼道 (M2)
- ・真宗証果論の研究
安満忠英 (M3)
- ・善護師の太行論の一考察
讃井 亮 (M3)
- ・第二十願、特に果遂の意義
杉田 了 (M2)
- ・親鸞の罪惡観
和田芳樹 (M2)
- ・信願論の研究
谷 實照 (M2)

《例会》

日程 二〇一〇年七月一五日(金)

於 龍谷大学大宮学舎清和館三階大ホール

講師 善賢 保之(京都女子大学教授)

演題 覚如の教学理解

○学会発表

《龍谷大学真宗学会第六四回大会》

日程 二〇一〇年十一月九日(火)

於 龍谷大学大宮学舎清和館三階大ホール

・宝蔵の願生婦命説批判

―その著述を通して―

西原法興 (D2)

・江戸後期における高田教学の変遷

―真淳の戒律論をめぐって―

栗原直子 (D3)

・『論註』における「智」と「慧」の分釈の意図

田中無量 (D3)

・親鸞の他力思想と信の研究

福田依正 (D3)

《第一五回国際真宗学会学術大会》

日程 二〇一一年八月四日(木)・五日(金)・六日(土)

於 大谷大学

・中国浄土教における「往生伝類」についての一考察

―善導を中心として―

山崎真純 (D2)

・The First Shin Buddhist Service Book in English:

Hunt's "The Buddhist's Veda Mecum" (1924)

釋氏真澄 (D2)

・The History and Development of Jodo Shin

Buddhism in Taiwan

王 仁興 (M2)

・現在の北米教団における往生理解(パネル発表)

釋氏真澄 (D2)

《日本宗教学会第七〇回学術大会》

日程 二〇一一年九月二日(金)・三日(土)・四日(日)

於 関西学院大学

・環中の廻心についての一考察

―「正中録」著述の真意―

西原法興 (D3)

・「往生伝類」における善導・善道間についての一考察

山崎真純 (D2)

《日本印度学仏教学会第六二回学術大会》

日程 二〇一一年九月七日(水)・八日(木)

於 龍谷大学大宮学舎

・「往生伝類」における行業についての一考察

―特に念仏思想について―

山崎真純 (D2)

・盤鸞における南朝仏教の影響

内田准心 (D2)

・存覚の報恩思想における真宗者の世俗行為に対する態度

谷口智子 (D2)

- ・浄土真宗における信心にまつわる表現 増井裕子 (D2)
- ・真宗的伝道

―「御文」と「講」の仕組みに学ぶ― 加茂順成 (D2)

- ・浄土真宗英語聖典成立における白人得度者が果たした役割

釋氏真澄 (D2)

- ・環中の願生帰命説

―「建幢摧邪篇」を通して― 西原法典 (D3)

仏教学専攻

《修士論文中間発表会》

日程 平成二十二年十月二十八日(木)

於 龍谷大学大宮学舎東餐二〇三教室

- ・喜海撰「華嚴經唯心義短冊」における唯心思想の研究

上村弘典 (M2)

- ・教相判釈論と華嚴宗の成立

―智儼と法蔵の同教説―

ウィックストローム・グニエル (M2)

- ・迦才撰「浄土論」における浄土思想の研究

―基撰「観弥勒菩薩上生兜率天経賛」との比較検討をふまえて―

本多公堯 (M3)

- ・タイ上座仏教から学ばされた宗教としての仏教

木山景星 (M2)

- ・ツォンカパのバーヴィウエーカ理解 馬場明希 (M3)

日程 平成二十二年十月二十九日(金)

於 龍谷大学大宮学舎東餐二〇三教室

- ・ニヤーヤ学派に見られる *śāntaka* の研究 下野良彰 (M2)

- ・バーニニ文法学における並列複合語の研究 朱 星元 (M2)

- ・ *Viṣṇupurāṇa* 第三章第一八節の考察 山田昌弘 (M2)

- ・「ラーマーヤナ」における倫理道德 久保田修平 (M4)

《平成二十二年度 龍谷仏教学会学術研究発表会》

日程 平成二十二年十二月十六日(火)

於 龍谷大学大宮学舎西餐二階大会議室

- ・「怒論弁惑章」の即身成仏義 吉田慈順 (D1)

- ・「提謂波利経」の佚文補遺 山口大輔(意真) (D2)

- ・覚鑑独自の五臓理解 亀山隆彦(研究生)

- ・ *Pratītyasamutpāda* における勝義解釈 早島 慧 (D1)

- ・『大乘莊嚴経論』の最終章に列举された

- ブツダ・タルマとその配列に関する一試論 上野隆平 (D2)

- ・アウアローキタウラタと階級差別 西山 亮 (D2)

《真宗連合学会 第五十八回大会》

日程 平成二十三年六月三日(金)

於 大谷大学

・『浄土論注要文抄』の諸問題

佐竹真城 (D3)

《平成二十三年度叡山学会》

日程 平成二十三年六月二十三日(木)

於 叡山学院

・智顗と灌頂における『涅槃経』観

—吉藏撰述書との比較を通して—

村上明也 (本学非常勤講師)

《二〇一一年度卒業論文の書き方説明会》

日程 平成二十三年六月二十八日(火)

於 龍谷大学大宮学舎東費一〇四教室

・卒業論文をどう書くか

吉田慈順 (D2)

・資料収集と保存方法

上野隆平 (D3)

・卒論執筆に関する注意事項

杉本瑞帆 (D2)

《京都宗教学系大学院連合主催院生論文発表会》

日程 平成二十三年七月二十九日(金)

於 大谷大学

・『愚諭弁惑章』の考察

吉田慈順 (D2)

《日本印度学仏教学会 第六十二回学術大会》

日程 平成二十三年九月七日(水)

於 龍谷大学大宮学舎

・尽形寿業に関する諸律因縁譚の比較研究 井上綾瀬 (研究生)

・『大乘莊嚴經論』真実品における勝義解釈 早島 慧 (D2)

・MSA XX-XXI. 43-61 *Pratīṣṭhādhikāra* 考

上野隆平 (D3)

・Avalokitaṃvraṭaと階級差別

西山 亮 (D3)

・『現量覚』による衆賢の「識境俱生」説

吉田 哲 (本学非常勤講師)

・法宝撰『一乗仏性究竟論』の基底

—特に浄影寺慧遠の思想と対比して—

小野嶋祥雄 (研究生)

・『菩薩成義疏』と『梵網経』との関連性

村上明也 (本学非常勤講師)

・『愚諭弁惑章』の位置づけ

—最澄・徳一論争の展開上において—

吉田慈順 (D2)

・覚鑑における心身平等説

亀山隆彦 (研究生)

日程 平成二十三年九月八日(木)

於 龍谷大学大宮学舎

・『提謂波利経』散佚部分の教説

山口大輔 (意眞) (D3)

・両頭愛染曼荼羅の成立に関する一考察

—金胎不二の図像的表現を中心に— 鍵和田聖子 (研究生)

哲学専攻

《龍谷哲学会主催 第三十二回哲学勉強会》

日程 二〇一一年六月十八日(土)

於 龍谷大学大宮学舎北費一〇四教室

発表者 尾川知氏(本学修士課程)

題目 トマス・アキナスの心身論

―クリマ「人間身体十魂」における問題解決の検討

《『基礎づけ』精読勉強会》

毎週土曜日 十七時―

カント『道徳形而上学の基礎づけ』を精読する。内容の要約と確認、疑問点の議論によって、『基礎づけ』をより精密に読むことを目的とする。

テキスト…カント『道徳形而上学の基礎づけ』宇都宮芳明訳、以文社、一九九八

Kant, *Grundlegung zur Metaphysik der Sitten*

《ドイツ語勉強会》

毎週金曜日 十五時三〇分―

哲学書の導入的文獻を和訳する。主に院生が学部生に指南する。院生は内容理解によって哲学書への理解を深めるとともに、ドイツ語に習熟することを目的とする。学部生はドイツ語とドイツ語

の哲学用語に慣れることを目的とする。

テキスト: Otfried Höffe, „Einführung in die Kritik der praktischen Vernunft“, *Immanuel Kant: Kritik der praktischen Vernunft*, Otfried Höffe (hrsg.), Berlin, 2002.

《古代・中世哲学研究会》

毎週火曜日 十六時―

西洋古代・中世の哲学に関する外国語文獻の読解を通して、研究に必要な語学力と批判的精神を養う。現在扱っているテキストは次の二点

B. Davies (ed.), *Aquinas's Summa Theologiae, Critical Essays*, Lanham, 2006.

Taylor, R. "The Problem of future Contingencies". *The Philosophical Review*, 66. 1-28, 1957

教育学専攻

《二〇一一年度修士論文中間発表会》

日程 七月九日 於 龍谷大学大宮学舎 北一〇二

・「中国大学における日本語教科書に関する研究 ―上海地区を対象に―」 呉 品 (M2)

・「中国朝鮮族小学校における外国語教育 ―中国語教育と英語教育を中心に―」 竹山 香 (M2)

・「青年期における感情体験と対人関係の認知との関連について」

吉田愛理 (M2)

・「バウムテストによるうつ病の考察」

北林次郎 (M2)

・「児童養護施設の「子どもが捉える成長」についての探索的研究」

廣橋諒一 (M2)

・「未知の問題場面における行動の生起・持続要因の研究 ―行動理論における心理状態の位置づけの模索―」

山本拓磨 (M2)

・「遊戯療法の『遊び』における『情動調律』と『共感性応答』についての一考察」

田屋景子 (M2)

・「友人との関係が深まるターニングポイントについての一考察」

白石洋平 (M2)

・「自閉症児(者)の養育者への支援についての一考察」

宇野沙知子 (M2)

・「小学校において不適応を呈している児童の実態調査」

沖原千菜美 (M2)

『龍谷大学教育学会紀要 第十号』龍谷大学教育学会、

二〇一一年三月

「浄土真宗本願寺派におけるビハーラ活動の展開と現状の課題」

pp.55-67

伊東秀章 (D3)

『日本宗教学会第七十回学術大会』

日程 二〇一一年九月三日

於…関西学院大学

「浄土真宗本願寺派におけるビハーラ活動の意義」

伊東秀章 (研究生)

『仏教看護・ビハーラ学会 第七回年次大会』

日程 二〇一一年八月二八日

於…京都華頂大学

「ビハーラ活動における生死の問題について ―アンケート調査の結果より―」

伊東秀章 (研究生) 友久久雄 (教授)

国史学専攻

【二〇一〇年度後期】

□講演会 「論文執筆・研究は楽しいぞ」

・日時：二〇一〇年一〇月五日(金) 一六時四十五分

・場所：龍谷大学大宮学舎 北楼二〇三教室

・報告者：

「研究テーマの決め方」

谷崎 仁美 (考古学 M2)

「瀬戸際に追い詰められないための卒論心構え」

大城 伊織 (近現代史 M1)

「古代史研究における自然災害」 造酒 豊 (古代史 D1)

「近世史研究における史料の扱い方 ―幕末期東西本願寺の

「先進」争論を例に―」 高山 嘉明 (近世史 研究生)

□研究発表会 例会

第一〇回 一〇月二三日(水) 藤原 祥恵(近世史 M2)

「近世のはやり病と人々の迷信観について」

第一一回 一〇月二〇日(水) 北原 祥光(中世史 D1)

「奈良・平安、畿内の材木調達」

第二回 一〇月二七日(水) 杉山 義弥(中世史 M2)

「鎌倉洛中における治安維持 ― 簀屋と在地人の関係性について」

「いー」

第三回 十一月一〇日(水) 高山 嘉明(近世史 研究生)

「梵鐘鑄換問題における「叙慮」の位置」

第四回 十一月一七日(水) 杉山 義弥(中世史 M2)

「簀屋の制度的展開と変質」

第五回 十二月一日(水) 谷崎 仁美(考古学 M2)

「古代における軒平瓦の製作技法の違いと時期差の問題」

第一六回 十二月八日(水) 片岡 英子(近現代史 M1)

「BC級戦犯に関する戦争責任」

□研究会・輪読会

■古代史輪読会1 毎月第一土曜日もしくは日曜日

〈於 国史学合同研究室〉

【担当】平林 章仁(本学文学部教授)

テキスト…国史大系普及版『類聚三代格・前篇』(吉川弘文館)

古代史輪読会では、『類聚三代格』の中から「神社」をめぐる史料をテキストとした。「神社」の項目が『類聚三代格』で最初に置かれている程、古代日本人々にとって関心の深いものであった。それが奈辺にあったのかを探った。

■古代史輪読会2 毎月第四土曜日もしくは日曜日(前日に相談して決定)

【担当】平林 章仁(本学文学部教授)

テキスト…国史学大系普及版『続日本紀・後編』

■中世史研究会 毎月第二火曜日

【担当】岸田 裕之(本学文学部教授)

テキスト…『天正記』(戦国期毛利氏史料撰)マツノ書店 一九八七年 所収)

テキストの各年月日の簡条ごとに担当者を決め、対象の条の解釈、関連事項を調べて報告する。

参考図書として『毛利輝元備伝』『萩藩閥閥録』等を利用し、

同時期の毛利輝元周辺の動きも把握し、また、豊臣政権下近世への移行にも関心を広げる。

京都並びに京都周辺の史蹟地に赴き、地域史像・時代史像を考

える臨地見学会も行っている。

■近世史史料輪読会 隔週木曜日

【担当】平田 厚志(本学文学部教授)

今年度は『徳川禁令考』(創文社)所収の法令史料を中心に輪

〈於 国史学合同研究室〉

読を行う。近世史料の読解力を養うことを目的とし、必要に応じて法令をめぐる政治的・思想的背景を考察する。

■近現代史研究会 隔週金曜日

《於 図書館研究室》

【担当】大城 伊織 (M1)

テキスト…宮沢俊義校註『憲法義解』岩波書店 一九四〇年

久米邦武や丸山真男等の論文をもとに、近現代史史料の読解を行う。論文関係事項を各員で調査し報告する。明治期の激動する社会状況について考察する。

■古文書研究会 毎週月曜日五講義時

《於 国史学合同研究室》

【担当】北原 祥光 (D1)

テキスト…随時古文書のコピーを配布する。

中世から近世にかけての古文書を扱い、まずくずし字の解説を行って内容を理解し、それぞれの古文書が持っている時代性や特徴を探索。

■『天正記』を読む会

《大宮図書館4F学習室》

【担当】北原祥光 (D1)

本会では、国立公文書館所蔵の古活字版『天正記』をテキストとして輪読会を行っています。「天正記」は豊臣秀吉の御伽衆大村由己が著した一群の記録ですが、本書を丹念に読み解くことによって、これまで知られなかった豊臣時代の姿が浮かび上がってくる可能性もあります。

事前にテキストを配布し、発表担当者を決めて輪読します。

■考古学勉強会

《於 大宮学舎東餐二階 考古学研究室》

毎週金曜日、考古学研究室で考古学に関する勉強会を行なっています。

「考古学の方法 型式学を中心に」「ソーシャルアーケオロジ（英語輪読）」※隔週で行う。

【担当】谷崎 仁美 (M2)

・「縄文時代のなりわいと土器編年」 毎週水曜日（前期）

【担当】青山 航 (M1)

・「古墳時代研究の基礎」 毎週水曜日（後期）

【担当】志田 真吾

□『国史学研究』第三四号（二〇一一年三月発行）

【二〇一一年度前期】

□二〇一一年度総会

・日 時…二〇一一年六月二十四日（金） 一三時一五分

・場 所…龍谷大学大宮学舎 東餐一〇三教室

・記念講演…山本 浩樹 先生（岐阜工業高等専門学校 教授）

・「関ヶ原の戦いと中近世移行期の社会」

□研究発表会 例会

・第一回 六月一五日 上之園 章広（近世史 M2）

「生類憐み令について」

・第二回 六月二二日

片岡 亮（近世史 M1）

「近世の癡者について」

・第三回 六月二九日

吉倉 靖（古代史 M2）

「東山道の駅家について―美濃・信濃国を中心に―」

・第四回 七月六日

片岡 英子（近現代史 M2）

「BC級戦犯に関する戦争責任について」

□研究会・輪読会

■古代史輪読会

【顧問…平林章仁（本学文学部教授）、代表…造酒豊（D2）】

古代史輪読会では、院生を中心に、学部生を含めて、古代史研究の基本史料である『類聚三代格』と『続日本紀』の輪読を進めている。史料の読み方や内容を検討し、その中に含まれている問題点やその史料の持つ歴史的意味などをめぐって、云いたいことを云い合う。つまりは、ひとつの史料をネタにして如何に遊ぶか、これが輪読会の目標である。

具体的日程は、その都度合議により決めているが、凡そ次のようである。

①『類聚三代格』…毎月第二土曜日。午後四時から。国史合研にて。

②『続日本紀』…毎月第四土曜日。午後四時から。国史合研にて。

■中世史研究会 毎月第二火曜日三講義時

〈於 国史学合同研究室〉

【担当…岸田裕之（本学文学部教授）】

テキスト…『天正記』（『戦国期毛利氏史料撰』マツノ書店 一九

八七年 所収）

テキストの各年月日の箇条ごとに担当者を決め、対象の条の解釈、関連事項を調べて報告する。

参考図書として『毛利輝元備伝』『萩藩閥閥録』等を利用し、同時期の毛利輝元周辺の動きも把握し、また、豊臣政権下近世への移行にも関心を広げる。

京都並びに京都周辺の史蹟地に赴き、地域史像・時代史像を考える臨地見学会も行っている。

■近世史史料輪読会 隔週木曜日一七時から

〈於 国史学合同研究室〉

【担当…平田厚志（本学文学部教授）】

今年度は『唐通事会所日録』の輪読を行う。近世史料の読解力を養うことを目的とし、必要に応じてそれらをめぐる社会的・思想的背景を考察する。

なお、学部生を対象に行うので、少しでも興味があれば積極的に参加していただきたい。

■近現代史研究会 火曜日四講義時（隔週で開催・参加者の都合によって変更あり）

〈於 国史学合同研究室〉

【担当…大城伊織（M2）】

テキスト…随時配布する

配布史料の読解、討議を行い、近現代史における様々な問題点を考察する。テキストは参加者の意見を勘案して決定したい。テキスト例としては福沢諭吉の『文明論之概略』、丸山眞男「日本人の政治意識」などがある。

■古文書研究会 月曜日五講義時

〈於 国史学合同研究室〉

【担当…北原祥光 (D2)】

テキスト…随時古文書のコピーを配布する。

中世から近世にかけての古文書を扱い、まずくずし字の解読を行って内容を理解し、それぞれの古文書が持っている時代性や特徴を探る。

■「天正記」を読む会 第一・第三火曜日三講義時

〈於 大宮図書館四階学習室〉

【幹事…北原祥光 (D2)】

本会では、国立公文書館所蔵の古活字版「天正記」をテキストとして輪読会を行っています。「天正記」は豊臣秀吉の御伽衆大村由己が著した一群の記録ですが、本書を丹念に読み解くことによって、これまで知られなかった豊臣時代の姿が浮かび上がってくる可能性もあります。進め方は、事前にテキストを配布し発表担当者を決めて輪読します。

□考古学研究室遺跡見学会

・五月一五日(日) (大阪府高槻市)

□考古学研究室遺跡見学旅行

・八月二六―二八日 (岡山県岡山市、総社市)

■考古学勉強会 水・金曜日 六・七講義時

〈於 大宮学舎東餐二階 考古学研究室〉

・金曜日六講義時【担当…岡崎晋明(本学文学部教授)】

『モンテリウス・チャイルドの考古学研究法』

モンテリウスとチャイルドの論文(訳文)を用いる。

・木曜日一九時から【担当…青山航・志田真吾 (M2)】

『発掘現場で困らないために』

この勉強会ではこれから発掘調査に参加したい人、現場経験の浅い人を対象に行います。測量機材の使い方、測量の練習を行い発掘現場での基礎技術の養成を行います。

東洋史学専攻

二〇一〇年度後期

〈学部生研究発表例会〉

於 大宮学舎西餐二階東洋史学合同研究室

十一月十七日(水)午後四時四十五分より

・金代華北の社会変動

藤原裕士(4回生・木田ゼミ)

〈考古学研究室活動〉

《第三十四回研究大会》

日時 十一月二十七日(金)午後一時十五分より

於 大宮学舎清和館三階ホール

研究発表

- ・金朝世宗・章宗期の官僚 黒田有誌(修士課程2回生)
- ・孫呉政權の主従関係について 川見健人(修士課程2回生)
- ・宋代に於ける進士科登第者の出身地

松野美貴(博士課程3回生)

- ・呼称からみる元代の医者について 谷口 綾(博士課程4回生)
- ・清代閩南地域に於ける移民と民間信仰

同安県灌口鳳山祖廟を例として 松尾郁子(博士課程4回生)

特別研究発表

講師 中田裕子先生(本学非常勤講師)

演題 「唐代馬政とソグド系突厥」

二〇一一年度前期

《第三十五回総会》

日時 六月三日(金) 午後一時半より

於 大宮学舎清和館三階ホール

記念講演【龍谷學會協賛】

講師 長崎暢子先生(龍谷大学現代インド研究センター長)

演題 『インド史におけるコミュニケーション』

ーガーンデイーの事例ー

《輪読会の運営》

- ・初級漢文輪読会 責任者 松野美貴(博士後期4回生)
- ・清代漢籍史料「聖武記」 責任者 黒田有誌(博士課程1回生)

- ・テキスト「三国志」呉書 責任者 川見健人(博士課程1回生)

- ・中世中国関係史料 責任者 末川洗介(修士課程2回生)

- ・学部生対象欧文輪読会 責任者 尾白悠紀(博士課程5回生)

- ・ペルシア語輪読会 責任者 村岡 倫(本学文学部教授)

- ・ペルシア語中級輪読会 責任者 土屋和良(賛助会員)

- ・現代トルコ語初級輪読会 責任者 土屋和良(賛助会員)

- ・チャガタイリットルコ語入門輪読会 責任者 土屋和良(賛助会員)

責任者 土屋和良(賛助会員)

日本語日本文学専攻

《二〇一〇年度日本語日本文学専攻 合同研究発表会》

日程 二〇一〇年九月一日(土)

於 龍谷大学大宮学舎 北登二〇三

・『源氏物語』における匂宮の即位をめぐる言説

川口陽子(D2)

・『簞物語』再検討 ―第二部を中心に―

豊原 薫(M2)

・飛鳥井雅経の和歌研究 ―勅撰集所収歌をめぐる―

阪口友介(M2)

・『平家花摘』の研究 ―その制作目的をめぐる―

岡村友加里(M2)

・御伽草子『十二類絵巻』の制作意図

加藤綾子(M2)

・司馬遼太郎と『明治百年祭』

平塚佳菜(M2)

・嵯峨の屋おむろ言文一致作品の文体

福島暢啓(M2)

《存覚研究会》

日程 二〇一〇年九月二二日(日)

於 龍谷大学

・記された無住 ―『存覚一期記』を中心に― 吉田 唯(D3)

《古代文学研究会 一二月例会》

日程 二〇一〇年十二月二二日(日)

於 同志社大学

・『源氏物語』第三部の今上帝を考える

櫻井 学(D1)

《文藝談話会》

日程 二〇一〇年十二月一五日(水)

於 龍谷大学

・『沙石集』という〈名〉の踏襲をめぐる ―『続沙石集』を

中心に― 吉田 唯(D3)

《クリスマス研究集会》

日程 二〇一〇年十二月二四日(金)

於 名古屋大学

・『沙石集』という〈名〉の踏襲をめぐる ―『続沙石集』を

中心に― 吉田 唯(D3)

《文藝談話会》

日程 二〇一一年六月二二日(日)

於 龍谷大学

・『慕婦絵詞』に記された覚如の和歌と神祇の関係について

吉田 唯(研究生)

《中世神道研究会》

日程 二〇一一年七月二三日(土)

於 早稲田大学

・天照大神口決の輪読発表 吉田 唯(研究生)

《二〇一一年度龍谷大学国文学会 研究発表会》

日程 二〇一一年六月二十五日(土)

於 龍谷大学大宮学舎 北發二〇三

・『源氏物語』弘徽殿太后と正義 — 「悪后」という評価をめぐ

つて— 川口陽子 (D3)

・「腰のしるし」と中の君 — 源氏物語・宇治十帖の一景—

櫻井清華 (研究生)

《二〇一一年度日本語日本文学専攻 プレ合同研究発表会》

日程 二〇一一年八月六日(土)

於 龍谷大学大宮学舎 北發二〇三

・曲亭馬琴『新編金瓶梅』の研究 豊岡瑞穂 (M2)

・太田牛一『信長公記』執筆と編集 中村名津美 (M2)

・能本 物狂い考 — 世阿弥における「狂い」とは—

佐野仁美 (M2)

・『宝物集』における撰述資料の引用方法について — 『法苑珠

林』を中心に— 田尾真由美 (M2)

《世界日本語教育大会》

日程 二〇一一年八月二日(日)

於 天津大学

・条件表現における読点の打ち方 — 文学作品を例として— ユニアルシー (D3)

英語英米文学専攻

二〇一〇年度(後期)

《研究発表会》

九月二十日(月) 午後二時—五時

於 龍谷大学大宮学舎清和館 3階

研究発表

The 'Magic' of Harry Potter through the Analyzation of Joseph Campbell's *Hero's Journey* and Witchcraft

堯 義之 (M2)

「EU域内における言語能力育成について」

金田尚子 (龍谷大学非常勤講師)

講演

「W. B. Yeats と Sligo Town」

岡本雄二 (龍谷大学理工学部教授)

《談話会：ミステリー研究会—英国語り物の系譜を探索》

九月二十二日(水) 午後四時—六時 於 英語英米文学合同研究室

宮部みゆき作『火車』 司会：西平奈々帆 (M1)

《談話会：ミステリー研究会—英国語り物の系譜を探索》

十一月十日(水) 午後五時—七時半 於 英語英米文学合同研究室

Ruth Rendell. *Live Flesh*. New ed. Arrow, 2000.

司会：良田玲子 (D3)

Ellery Queen. *Tragedy of Y. Intl Polygonics Ltd.* 1986.

司会：良田玲子 (D3)

《談話会：ミステリー研究会―英国語り物の系譜を探る》

十二月二十二日(水) 午後五時半～八時

《論文指導》

於 英語英米文学合同研究室

山崎弘行教授による隔週の個人指導。通年、学期中の毎週水曜日。

江戸川乱歩作『心理試験』

司会：福本宰之教授

修士課程：参考文献の推薦と提示。英文文献の講読。

《談話会：ミステリー研究会―英国語り物の系譜を探る》

二月二日(水) 午後五時半～八時 於 英語英米文学合同研究室

上紀子教授による毎週の個人指導。通年、金曜日。

Gilbert Keith Chesterton. *The Innocence of Father Brown*. New ed. House of Stratus, 2000

研究生：論文対象テキストの講読と分析、論文構成の検討と添削。

司会：山崎弘行教授

福本宰之教授による毎月の個人指導。通年、学期中の火曜日。

《談話会：ミステリー研究会―英国語り物の系譜を探る》

二月二十三日(水) 午後五時半～二十時

修士課程：毎回のテキスト範囲の内容に関する討論。論文に関する文献指導。

於 英語英米文学合同研究室

Ellery Queen. *Tragedy of X. Intl Polygonics Ltd.* 1986.

司会：西平奈々帆 (M1)

《談話会：ミステリー研究会―英国語り物の系譜を探る》

三月二十九日(火) 午後五時半～八時

於 英語英米文学合同研究室